

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
母性看護援助論Ⅱ	NSP33_006	必修	1	3	前期
担当教員	研究室	電子メールID	オフィスアワー		
飯嶋 玲奈	405	reina.iijima	水曜日 9:00～13:00		
授業の目的・概要	母性看護学概論、母性看護学援助論Ⅰで得た学びをもとに、正常経過の妊娠・分娩・産褥・新生児期の看護過程を、家族の役割なども含めてウェルネスの視点を活用してアセスメントし、看護計画の立案および評価という一連のプロセスの基本的な展開方法を学修する。また、妊婦・産婦・褥婦・新生児の看護に特有な技術を学ぶ。対象に応じた方法で実践をし、技術・態度を修得する。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> その他 () <input type="checkbox"/> ディスカッション・レポート <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク				
学習上の助言	3年後期の母性看護学実習に直接つながる学修となる。ウェルネス看護過程、知識や技術をその都度確認しながら事例展開を行うこと。妊婦や新生児モデルを用いて演習をする。実践を意識し、積極的に取り組むこと。				
教科書	・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① /著:森恵美 他 /医学書院 /2023 ・系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学各論 母性看護学② /著:森恵美 他 /医学書院 /2023 [2冊指定]				
参考書	・根拠がわかる母性看護過程 事例で学ぶウェルネス志向型ケア計画 /編:中村幸代 /南江堂 ・ウェルネスから見た母性看護過程+病態関連図 編:/佐正勝 他 /医学書院				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	リプロダクティブ・ヘルス/ライツの視点をもち、多様な価値観を尊重した看護のあり方を考えることができる。	NS(1)(2)			
②	産褥期、新生児期の母子の健康状態(健康上の問題)を判断し、健康増進に向けて必要な看護を考えることができる。	NS(2)(3)(4)			
③	妊娠・分娩・産褥期および新生児期にある母子の看護に必要な基本的技術を理解し、正確に実施することができる。	NS(2)(3)(4)			
④	演習では学生同士で協力し協調性及びリーダーシップをはぐくむことができる。	NS(1)～(5)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	オリエンテーション 事例提示、妊娠期のアセスメントの視点	講義	【事後課題】 褥婦の事例の情報整理、妊娠期のアセスメントの視点の復習とアセスメントの整理・修正をする	1	
2	褥婦の看護過程展開Ⅰ-1 【妊娠期のアセスメント】と解説	講義・演習		1	
3	分娩期と産褥期のアセスメントの視点	講義	【事後課題】 分娩期と産褥期のアセスメントの視点の復習と、退行性変化のアセスメントの整理・修正をする	1	
4	褥婦の看護過程展開Ⅰ-2 【退行性変化のアセスメント】と解説	講義・演習		1	
5	褥婦の看護過程展開Ⅰ-2 【進行性変化のアセスメント】と解説	講義・演習	【事後課題】進行性変化のアセスメントの整理・修正をする	1	
6	褥婦の看護過程展開Ⅰ-2 【母親役割のアセスメント】と解説	講義・演習	【事後課題】母親役割のアセスメントの整理・修正をする	1	
7	褥婦の看護過程展開Ⅱ 【看護計画立案】と解説	講義・演習	【事前課題】これまでのアセスメント内容の振り返りをする	1	
8	褥婦の看護過程展開Ⅲ 【評価・修正】と解説	講義・演習	【事後課題】看護過程記録の整理と修正	1	
9	事例提示、新生児期のアセスメントの視点	講義	【事後課題】アセスメントと看護計画立案の内容を整理・修正をする	1	
10	新生児の看護過程展開Ⅰ・Ⅱ 【アセスメント】・【看護計画立案】と解説	講義・演習		1	
11	新生児の看護過程展開Ⅲ 【評価・修正】と解説	講義・演習	【事後課題】看護過程記録の整理と修正	1	
12	看護過程展開のまとめ 技術演習のオリエンテーション	講義	【事後課題】看護過程記録の整理と修正	1	
13	母性看護技術演習	演習	【事前課題】技術演習課題 【事後課題】事前課題の修正、演習後の記録	1	
14	母性看護技術演習	演習		1	
15	産後ケア/本講のまとめ	講義	【事前課題】産後ケアについて事前に学修する 【事後課題】講義レポートを作成する	1	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイント参照				

【専門教育科目/看護の展開/母性看護学】

総合評価割合(%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
総合力指標	知識・技術力	30	10	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	30	20	0	0	0	50
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	0	0	0	0	0	0
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点					
試験	①	✓	学期末に筆記試験(100点)を実施し、評価全体の60%に換算する。ただし、筆記試験で60点(合格基準)に満たないものは再試験の対象となる。				試験後解説および返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
レポート	①	✓	看護過程記録、技術演習の事前・事後課題、講義レポートを評価全体の30%で評価する。いずれの提出物において、合格基準に満たない場合は再提出を求める場合がある。なお、提出が、予告した期限を過ぎた場合は評価対象としない。				添削して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①		課題提出状況、取り組み姿勢を全体の10%で評価する。技術演習は実習を見据えた内容であるため、実習生としての身だしなみや演習態度も、取り組み姿勢の評価に含める。				取り組み姿勢について適宜コメントする。
	②						
	③						
	④	✓					
備 考							
他担当教員	なし						
教員の実務経験	総合周産期母子医療センターにおいて助産師として、5年の臨床経験を有し、かつ母性看護学および助産学の6年の教育経験を有する者が教授する。						
実践的授業の内容	実務経験のある教員が実践での経験を活かした内容を交えた事例をもとに講義・演習を進める。実際の対象や家族、環境をイメージしながら、より実践的な看護過程の展開や技術の修得を目指す。						
その他	・演習課題は原則WORDを用いて記載するため、PCやタブレットを予め用意しておくこと。 ・充電、起動、ログイン等を授業開始前に整えておくこと。 ・演習課題やレポートなどの提出物の遅れは認めません。 ・演習で扱う技術はすべて後期の実習に直結するため、積極的な姿勢で臨み技術を確実に修得すること。						